

関西広域連合環境率先行動計画〔本部事務局・議会事務局〕に基づく取組結果について

関西広域連合本部事務局・議会事務局の取組について、2023 年度(令和 5 年度)までの 5 年間の結果は、次のとおりです。

(1) 電気使用による温室効果ガス排出量

【目 標】

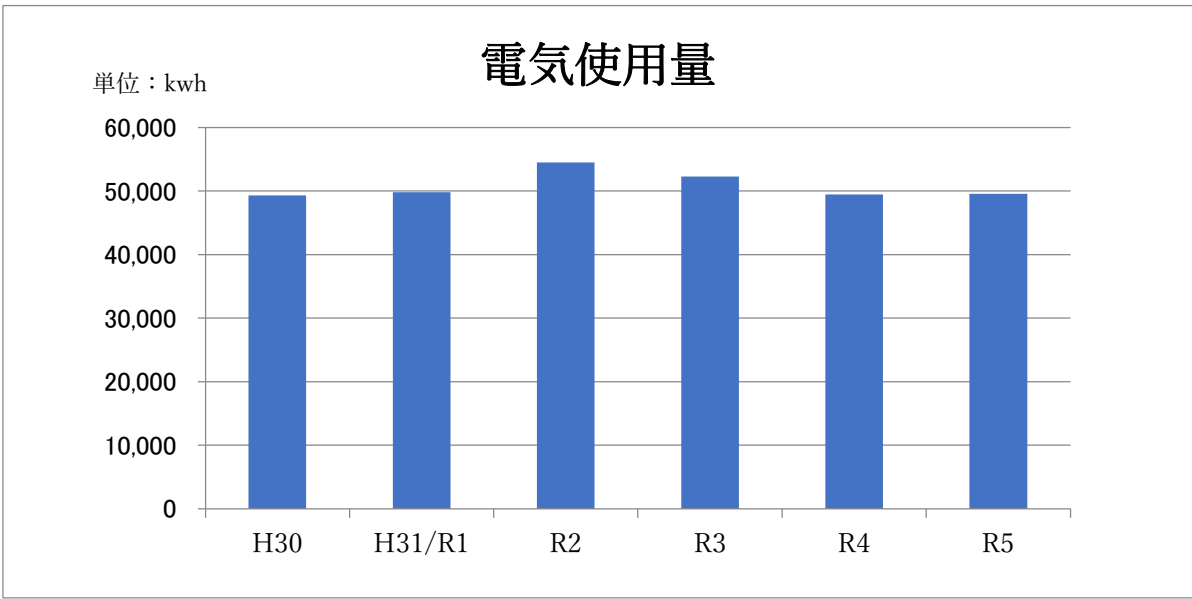
2018 年度(平成 30 年度)を基準年度とし、2023 年度(令和 5 年度)までに 5 %削減を目標に取り組む。

	基準	目標	実 績				
	2018 (H30)	2023 (R5)	2019 (H31/R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
温室効果ガス排出量 (kg-CO ₂)削減率	24,056	5%削減	+1.0%	+10.6%	+6.1%	+0.4%	+0.5%
[排出量(kg-CO ₂)]		[22,853]	[24,304]	[26,597]	[25,518]	[24,141]	[24,176]
電力使用量(kwh)	49,295	46,830	49,803	54,503	52,290	49,469	49,542

※電気の排出係数については、平成 30 年度の代替値(0.488kg-CO₂)を用いて設定

【実 績】

電気使用による温室効果ガス排出量は、計画最終年度の令和 5 年度において 2018 年度(平成 30 年度)を基準年度として+0.5%と厳しい結果となりました。令和 2 年は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策としての空調の常時稼働による影響が大きかったものと考えられます。令和 5 年には全国の平均気温が統計開始から過去最高となり、事務所所在地の大阪市においても夏の最高気温は令和 3 年の 38.9℃に次ぐ 38.6℃となりましたが、関西脱炭素アクションにより適正冷房や軽装勤務等に努めたなどの結果、令和 2 年以降は微減傾向が続いています。



(2) コピー用紙購入量

【目 標】

2018 年度(平成 30 年度)を基準年度とし、基準年度以下を毎年度の目標とする。

ただし、広域計画の改定年度においては、業務量増加に伴ってコピー用紙購入量が増加することを考慮して、今後の改定年度の目標については直近の改定年度の令和元年度以下とする。

	基準	目標		実 績				
	2018 (H30)	通常 年度	広域計画 策定年度	2019 (H31/R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
用紙購入量 (千枚)	1, 073	基準年度 以下	令和元年度 以下	1, 113	803	775	956	777
対基準年度比				+3. 8%	△25. 2%	△27. 7%	△10. 9%	△27. 6%
広域計画改定年度				該当			該当	

＜参考＞ 広域計画改定年度の用紙購入実績

・平成 28 年度 1, 722, 500 枚 ・令和元年度 1, 113, 000 枚

(※) 広域計画期間は3年間であるため、令和元年、令和4年…と3年毎に改定作業が発生

【実 績】

コピー用紙購入量は、計画最終年度の令和 5 年度において 2018 年度(平成 30 年度)を基準年度として△27. 6%となり、目標を達成できました。紙資料の電子化の取組による影響が大きかったものと考えられます。

